



コミュニティ・スクール通信

No. 2 令和5年(2023年)1月12日(文責 古山)

去る令和4年12月22日(木曜日)に第3回学校運営協議会が開かれました。今回は、第3回の報告をお伝えします。

◇第3回学校運営協議会(12月22日)

【内容】・2学期の様子について学校より説明(校内研修の様子、生徒指導上の課題等)

- ・「よりよい八東小づくりアンケート」(10月実施)の結果をもとに意見交換
- ・八東小地域連携活動一覧表をもとに、学校職員と運営協議会委員で情報・意見交換

○2学期の様子から

学校:5年生の研究授業を皮切りに各学年が研究授業を実施。タブレット端末などを活用しつつ児童の対話が生まれる場面をつくりだしている。生徒指導については、教職員全体で児童を見守り、情報を共有しつつ進めている。コロナ感染症にかかる欠席が11月中旬から多かったが、2学期末の時点で落ち着きつつある。オンラインでの対応を行いつつ、教育活動を継続した。

委員:オンラインは便利。だが、やはり対面での授業が大切。

○「よりよい八東小づくりアンケート10月実施」結果から(回答率 85.7%:66/77家庭)

		6月	10月
児童	わたしは、自分によいところがあると思う	76.2%	75.2%
保護者	子どものよい行いをほめたり、長所を伝えたりしている	94.5%	95.4%
職員	児童のよい行いや努力していることをほめたり、長所を伝えたりしている	100.0%	100.0%

委員:よいところは自分ではわかりにくい。やはり、周りからの評価で分かるのでは。例えば、「よいところ」を「得意なことがある」にすれば回答しやすいかも。大人の世界でも、他人からの評価で成り立っている。例えば子ども同士で話し合ってみては。自分の長所と短所をリフレーミングし合って「いいところ」を感じさせてあげるなどの手立てをしてみてもいい。

学校:否定回答している児童を把握し、再度今している取組を充実できるようにする。

		6月	10月
児童	わたしは、学校が楽しい	88.1%	89.9%
保護者	子どもが、気持ちよく学校に行けるよう、送り出している	98.2%	95.5%
職員	落ち着いて学習に取り組める環境を整えている	100.0%	91.7%

委員:児童の肯定回答が上がっている。数値としては小さいがちょっとずつでも増えているのは大きいことではないか。

学校:学校としても嬉しい結果。引き続き環境を整えながら、楽しいと思える学校にしていく。

今後は、アンケート結果や委員の方からの意見をもとに、来年度の八東小学校の運営について3学期に運営協議会で確認をしていきます。

教職員と委員と、地域連携活動について意見交換。教育計画の見直しと次年度の参考になる有意義な協議となりました。

